# 麻酔の安全と質を高めるために 看護師に何ができるのか?

### 周麻酔期看護 事始め

横浜市立大学付属市民総合医療センター 麻酔科 周麻酔期看護師





# お話しする内容

周麻酔期看護師とは 周麻酔期看護のコンセプト 今後の課題

### 麻酔×看護

### • 麻酔看護師 Nurse Anesthetist

 Nurse Anesthetist is a general title for nurses working in anesthesia with a specific education, and their practice is governed by regional policies, rules and regulations

by International Federation of Nurse Anesthetist

### ・日本では

- ○手術室看護師の外回り業務の一部
- ○「麻酔看護」という言葉自体存在していなかった
- ○2010年、日本初の麻酔看護に専門特化した教育課程が 設立

### 周麻酔期看護学 教育課程

- 入学要件
  - o学士学位、正看護師資格
  - ○急性期看護(手術室、ICUなど)での経験
- 修業年数
  - 02年間
- 取得学位
  - o看護学修士号

#### 教育機関

聖路加国際大学·横浜市立大学 国際医療福祉大学·信州大学 奈良県立医科大学·滋賀医科大学



## 周麻酔期看護師とは

- 周麻酔期看護師とは...Perianesthesia Nurse (PAN)
  - o 麻酔にかかわる術前から術後までの医療のながれの中で、 麻酔科医を中心とした麻酔医療チームの一員として機能し、 術前術後管理を含め、患者にとって最善の麻酔が施される ように、看護師として麻酔業務を補助する役割を果たす(聖 路加国際大学)
  - ○周麻酔期におけるcareとcureを統合した看護実践、教育、相談、調整、研究、倫理に関する看護実践能力を有する者であり、周麻酔期の包括的な患者管理が安全に実施できる看護師(横浜市立大学)

## 周麻酔期看護 キーワード

周麻酔期という概念

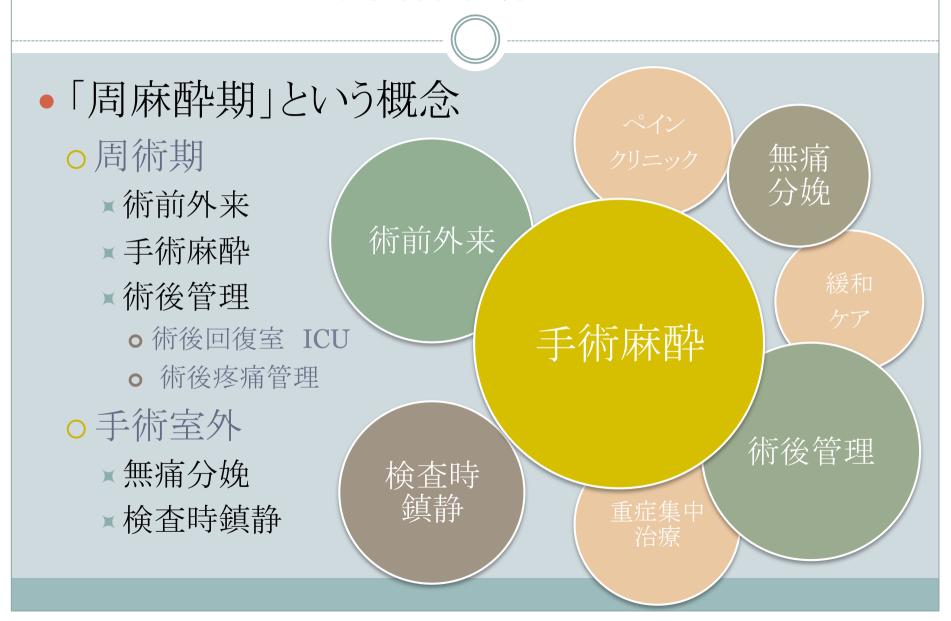
タスクシフトを伴う チーム医療 麻酔医療の 安全と質向上に 貢献

## 周麻酔期とは

- 周麻酔期...??
  - ○「周術期」という概念

術前 術中 術後

## 周麻酔期とは



## 周麻酔期看護 キーワード



周麻酔期という概念

タスクシフトを伴う チーム医療 麻酔医療の 安全と質向上に 貢献

### 周麻酔期看護師の実際の業務

### • 手術室内

- ○担当症例
  - × 主にASA PS 1~2
  - ϫ新生児は除く
  - ▼ 開心術など複雑・高度な手術手技症例は除く
  - 主に形成外科、乳腺・甲状腺外科、口腔外科など体表面の手術、 婦人科や外科の腹腔鏡手術
  - ▼麻酔導入時・覚醒時・体位変換時などは麻酔科医が同室する
  - ★状態が安定している場合、麻酔科医と定期的なコミニュケーションを保つ
  - ϫ挿管時はビデオ喉頭鏡を使用する
- ○心臓手術や緊急手術、重症例のアシスタント業務

# タスクシフトを伴うチーム医療

	(( ))
PANが実施している医行為	特定行為
末梢静脈路確保 輸液·輸血療法	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量 の調整
非外科的気道確保 気道管理、抜管	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位 置の調整 気管カニューレの交換
麻酔器・人工呼吸器設定の調節	侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸器からの離脱
麻酔薬(鎮痛薬・鎮静薬・筋弛緩薬) の投与と調節	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の 投与量の調整
周術期に良く使用される 循環作動薬・局所麻酔薬・ステロイド 製剤などの薬剤投与	持続点滴中のカテコラミン・降圧剤・利尿剤・ナトリウム・カリウム・クロールの投与量の調整 インスリンの投与量の調整 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
直接動脈穿刺による採血	直接動脈穿刺による採血、橈骨動脈ラインの確保
術後の酸素療法・疼痛管理	

### 周麻酔期看護師の実際の業務

### • 周術期外来

- ○事前の情報収集、診察記録の作成
- ○問診、身体診察、患者教育、麻酔に関する説明
- ○同意書の代行入力、検査の代行オーダー
- 術後診察
  - Acute Pain Service (APS)
- •無痛分娩
  - ○分娩進行に合わせた硬膜外カテーテルからの薬剤 投与

## 周麻酔期看護 キーワード

周麻酔期という概念

タスクシフトを伴う チーム医療 麻酔医療の 安全と質向上に 貢献

PANはどのように麻酔医療に貢献できるのか?

PANの行為は安全か?

PANの関与で何が変わるのか?

PANの使命

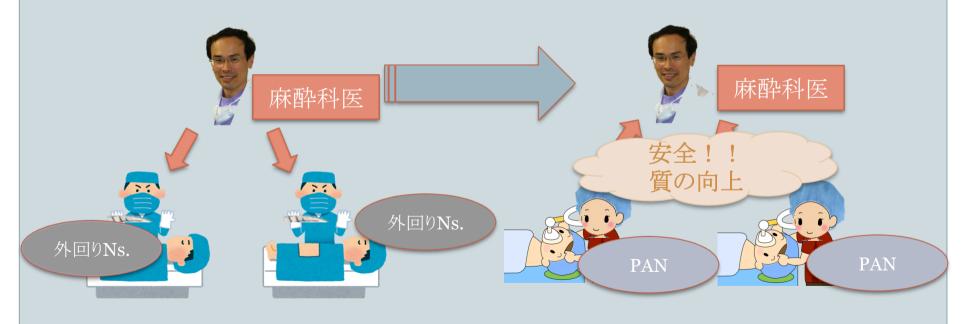
麻酔医療の安全と質の向上に貢献すること

### PANはどのように麻酔医療に貢献できるのか?

- ・麻酔医療の問題
  - ○相対的な麻酔科医不足・偏在
    - ×増加する手術件数、手術室外での需要の増大、医療安全 への意識の高まり
    - × 自家麻酔、並列麻酔
    - \*野放し状態の検査時鎮静

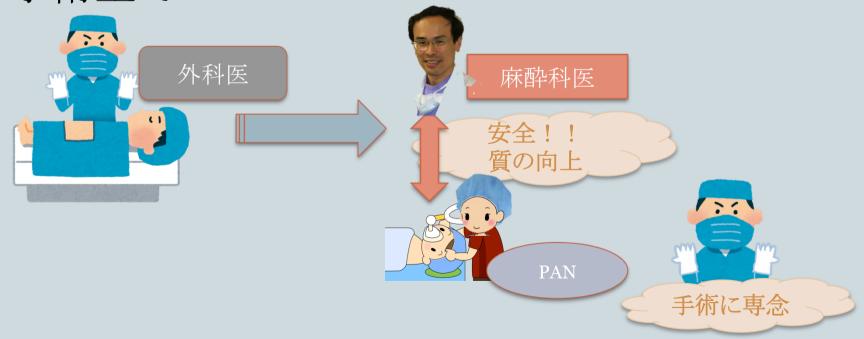
PANはどのように麻酔医療に貢献できるのか?

・手術室で





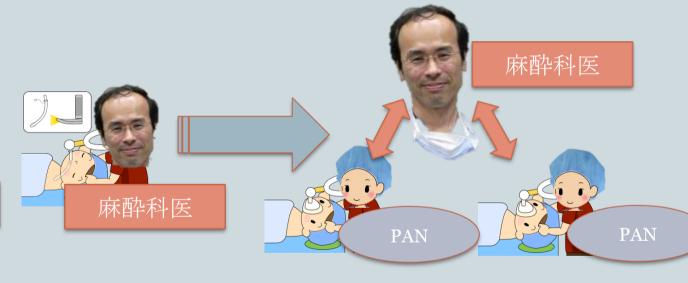
・手術室で





・手術室で











PANはどのように麻酔医療に貢献できるのか?

PANの行為は安全か?

PANの関与で何が変わるのか?

## 今後の課題

- 周麻酔期看護師の数の確保 教育施設の拡充
- 養成課程教育の標準化
  - oコアカリキュラムの構築
  - ○現行教育カリキュラムの見直し、演習実習体制の充 実
- 継続教育
  - ○個々の周麻酔期看護師の実践能力の向上
  - ○高度実践看護師としての役割発揮
- ・認証制度の制定